



TITLE:

天象

AUTHOR(S):

---

CITATION:

天象. 天界 1931, 11(118): 167-169

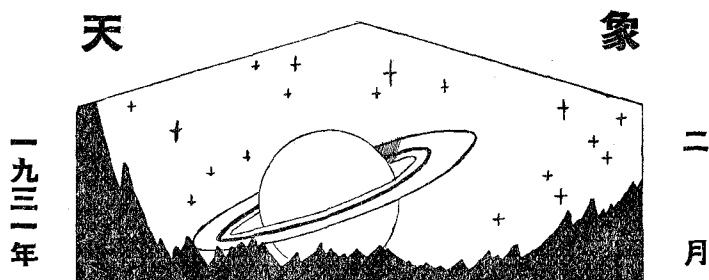
ISSUE DATE:

1931-01-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161616>

RIGHT:



### 太陽

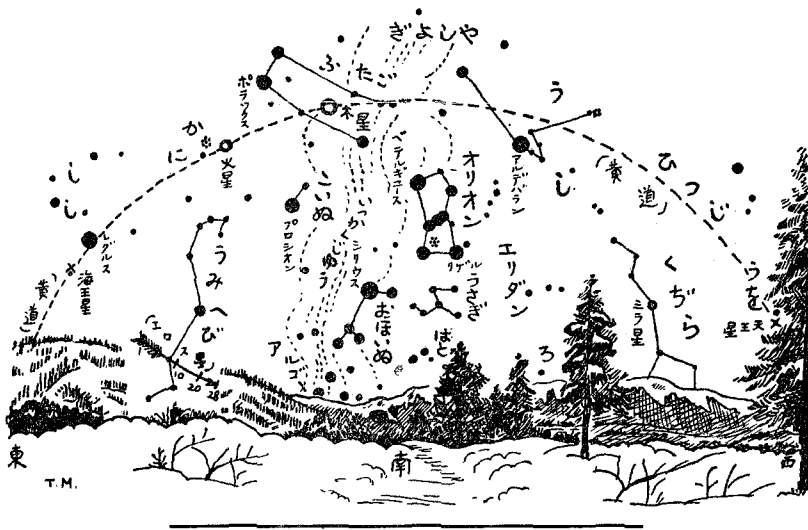
日	赤 經	赤 緯	視直經	星 座
(31)	20時50分55秒	南17度40分	32分31秒	やぎ
10	21時31分16秒	南14度41分	32分28秒	やぎ
20	22時10分20秒	南11度18分	32分24分	みづがめ
(2)	22時48分17秒	南 7度37分	32分20秒	みづがめ

月初めには寶瓶宮に在るが、二十日から雙魚宮に侵入する。日出は一日は午前六時五十七分、次第に早くなつて月末には午前六時二十八分となる。日没は、一日午後五時二十五分、日が長くなるので、月末には午後五時五十二分となる。

### 月

月の相	時 刻	視直經	星 座
満 月	3日午前 9時26分	33分17秒	か に
下 弦	10日午前 1時10分	31分31秒	てんびん
新 月	17日午後10時11分	29分29秒	みづがめ
上 弦	26日午前 1時42分	30分46秒	う し
近地點通過	4日午前 7時24分	33分42秒	し し
遠地點通過	19日午前 6時42分	29分24秒	みづがめ
降交點通過	6日午後 4時21分	33分 1秒	をとめ
昇交點通過	20日午後 8時34分	29分28秒	う を

二日夕刻に月は火星を掩蔽する。天文年鑑に依れば、潛入時刻は午後五時五十二分、位置角百八十度、出現時刻は午後七時三分、位置角272°。四日夕海王星と、十三日夕金星と、十四日午後土星と、十五日夜半水星と近寄るが三度以上距つてゐるから面白くない、二十一日夕六時に天王星の北側十五分(角)程の所を通る。小望遠鏡所有者は天王星を見付けるのに便利であらう、二十八日午後木星に近づくも面白味なし。



## 恒 星 界

白く雪に包まれし北の山々に、<sup>レ</sup>ペガス<sup>ヲ</sup>が沈むころ

み空の星は無言のまゝ、地上の銀世界を見まもる。

北斗七星が、北極を指し示しつゝ、静かにめぐれば、

<sup>レ</sup>しし<sup>ヲ</sup>や<sup>レ</sup>うみへび<sup>ヲ</sup>が、<sup>レ</sup>春遠からず<sup>ヲ</sup>と東天に顔を上げる。

星のめじりはおごそかにして、寸時の絶え間もなく、

時や季節を寸分の誤りなく、吾等におしへ示す。

今や<sup>レ</sup>オリオン<sup>ヲ</sup>は南の空に高く輝きて、

<sup>レ</sup>冬も最中<sup>ヲ</sup>と、おもむろに語る。

南北を貫いて一と條に流れし、彼の雄大なる天の川は、

<sup>レ</sup>大宇宙の構造ならば、吾を見て知れ<sup>ヲ</sup>と、ほゝえむ。

規則正しき星々の中にも、ひときわ、目立つは、

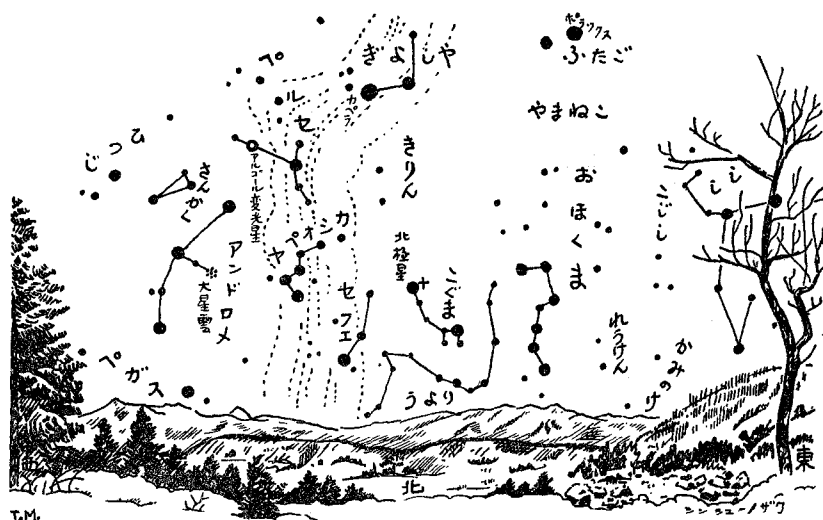
燈臺星とも稱へたき變光星、アルゴール——

三日足らずの不變の週期に、神秘をつゝみし、

ペルセ座<sup>ノ</sup>星の、今日の極小時期を示せば。

三日午後八時十八分と、六日午後五時十二分と、とんで、

二十三日午後十時六分、二十六日午後六時五十四分。



## 遊 星 界

**水星** 暁の星として東天に輝やき、月始めは $\Gamma$ の中央に在りて、順行を續け月末には $\zeta$ みづがめ $\Gamma$ の西端に達す。それと同時に太陽に追い付いて行くから、觀望には月始め程よい。その頃は光度0等、視直径6秒餘、これも次第に減少して月末には5秒となる。二日午前四時土星に接せんばかりに近寄る見落すなかれ。

**金星** 暁の明星として輝き、二日西方最大離角47度となる。本年に於ける觀望の絶好期。此の時、視直径は25秒、光度は負四等、位置は $\Gamma$ と $\zeta$ へびつかひ $\Gamma$ の境界附近を順行中、月末には $\Gamma$ の中央を過ぎてゐる。

**火星** 衝となりてより日尚ほ淺く宵の東天に在りて觀望の好期。位置は $\zeta$ かに $\Gamma$ の中央より西端まで逆行す。光度負一等。視直径は月始め14秒、月末12秒。二日夕刻に掩蔽、詳細は前頁月の欄参照

**木星** 此の星も衝を過ぎた許り、 $\zeta$ ふたご $\Gamma$ 座西部を徐々に逆行中。視直径は月始め42秒半、月末40秒。光度は負二等。宵の觀望に好都合である。

**土星** 暁の星、 $\Gamma$ 座の略中央にありて順行す。二十五日金星と並ぶ。視直径14秒足らず、光度約一等。觀望には今後(六月)の好期を待つのみ。

**天王星**  $\zeta$ うを $\Gamma$ 座エプシロン星の西を順行中。光度6等、視直径3秒餘。

**海王星**  $\zeta$ しし $\Gamma$ 座主星の西に在り。光度8等、視直径2秒半。

**冥王星**  $\zeta$ ふたご $\Gamma$ 座デルタ星の東を逆行中。中型以下の望遠鏡では見えぬ。